

島本町景観計画

若い世代アンケート調査結果

【概要版】

1. 調査の概要	1
1-1. 調査の背景.....	1
1-2. 調査の目的.....	1
1-3. 調査概要.....	1
2. 調査結果	2
2-1. 島本町での居住について	2
2-2. 島本町の景観について	8
2-3. 属性	11

1. 調査の概要

1-1. 調査の背景

都市計画マスタープランアンケートで町の景観に対する意識の概略は把握できています。同様に全住民を対象としたアンケート調査ではなく、ターゲットを絞ったアンケートを実施します。

1-2. 調査の目的

島本町は住宅都市であり、今後も住みたい町として選ばれ、住み続けられることをめざして、今後の島本町のまちづくりの担い手となる町内在住の若い世代に、景観も加味した居住地としての魅力や課題などについて意見をうかがい、計画に反映するとともに、まちづくりへの意識の向上を狙います。

※定住層の若い世代の意向は町政推進上も重要と考えられるので、景観のみに限定せず定住のきっかけなど関連する項目を設定します。

1-3. 調査概要

(1) 調査方法

①調査対象

令和3年4月1日現在で島本町内在住の20歳代～30歳代の中から無作為に抽出した1,000人を対象として実施

②調査期間

令和3年8月19日～9月6日

③調査方法

郵送による配布及び回収（督促なし）（無記名）

(2) 配布回収状況

配布数	回収※	
	回収数	回収率
1,000	423	42.3%

(3) 留意点

- ・集計では、小数点第1位を四捨五入しており、数値の合計が100%にならない場合があります。
- ・Q3、Q4、Q7については空欄の回答欄に関しては無回答としています。
- ・Q1、Q2、Q5、Q6-A、Q8、属性についての設問に関しては選択指示の回答数に従わないものは無効としています。

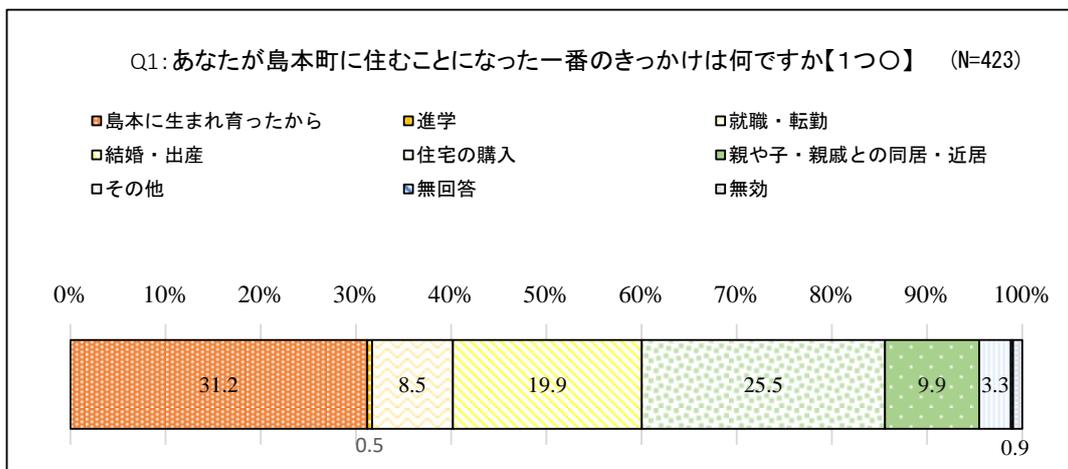
2. 調査結果

2-1. 島本町での居住について

Q1 島本町への居住理由 居住のきっかけ

あなたが島本町に住むことになった一番のきっかけは何ですか。【1つに〇】

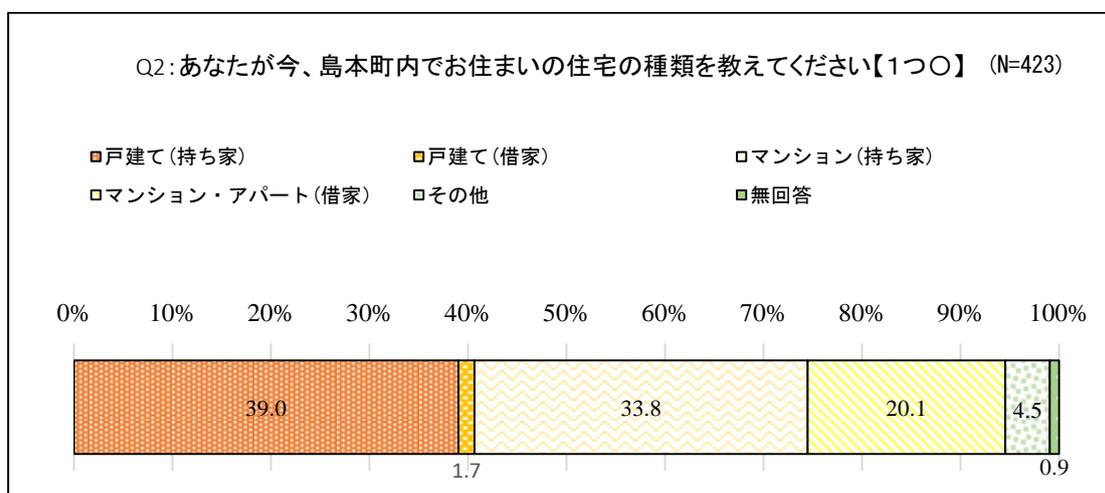
○「島本に生まれ育ったから」(31.2%)が最も多く、「住宅の購入」が(25.5%)であることから移住者も多くなっています。



Q2 島本町への居住理由 居住している住宅について

あなたが今、島本町内でお住いの住宅の種類をお答えください。【1つに〇】

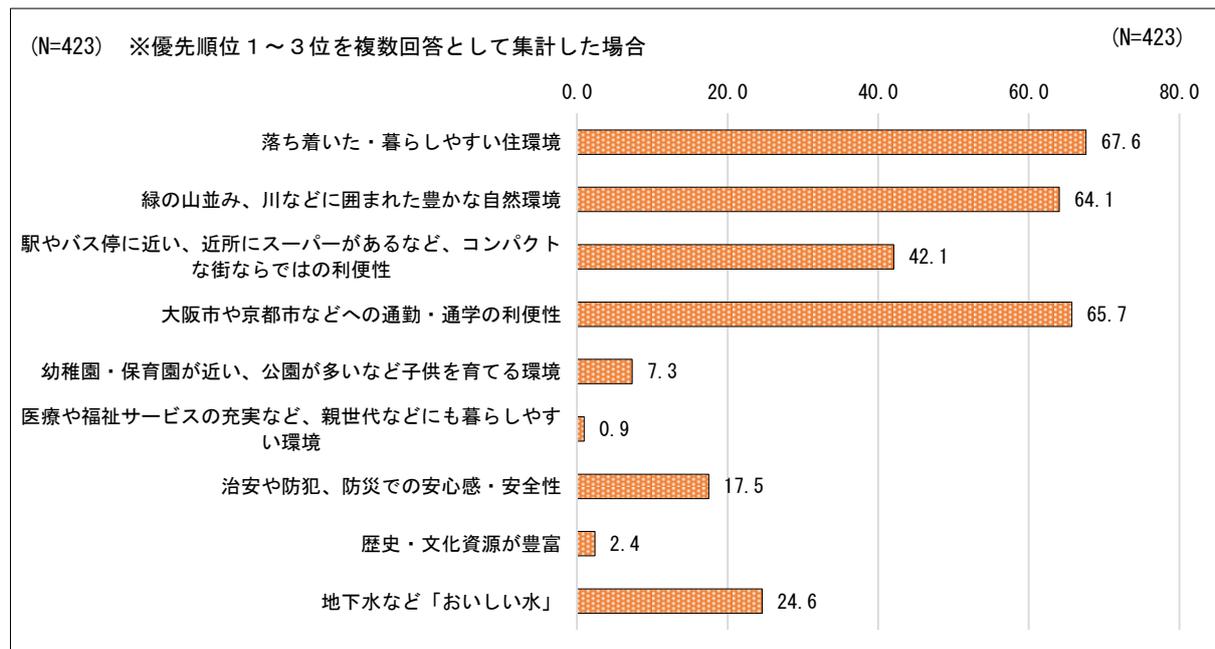
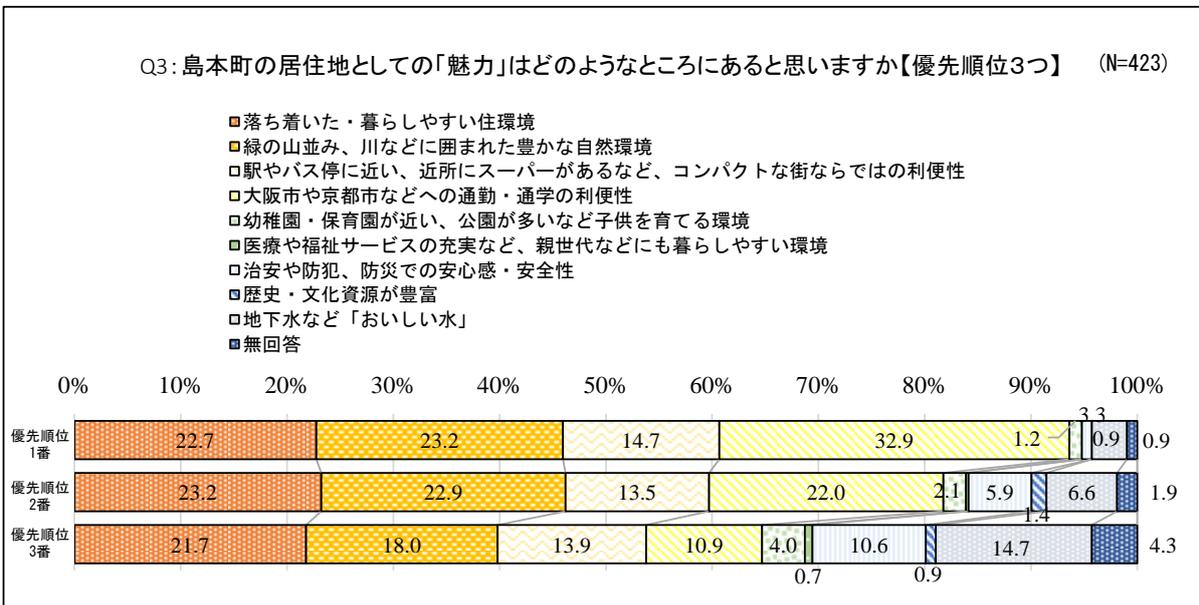
○「戸建て(持ち家)」(39.0%)と「戸建て(借家)」(1.7%)を合わせると4割近くが戸建て住宅に居住しています。「マンション(持ち家)」(33.8%)とマンション・アパート(借家)(20.1%)を合わせると、5割以上がマンションに居住しています。



Q3 居住地としての魅力

島本町の居住地としての「魅力」はどのようなところにあると思いますか。優先順位をつけてお答え下さい。【上位3つ】

- 優先順位1番は「大阪市や京都市などへの通勤・通学の利便性」(32.9%)が最も多く、次いで「緑の山並み、川などに囲まれた豊かな自然環境」(23.2%)が魅力的とされています。
- 優先順位2番は「落ち着いた・暮らしやすい住環境」(23.2%)が最も多く、次いで「緑の山並み、川などに囲まれた豊かな自然環境」(22.9%)が魅力的とされています。
- 優先順位3番は「落ち着いた・暮らしやすい住環境」(21.7%)が最も多く、次いで「緑の山並み、川などに囲まれた豊かな自然環境」(18.0%)が魅力的とされています。



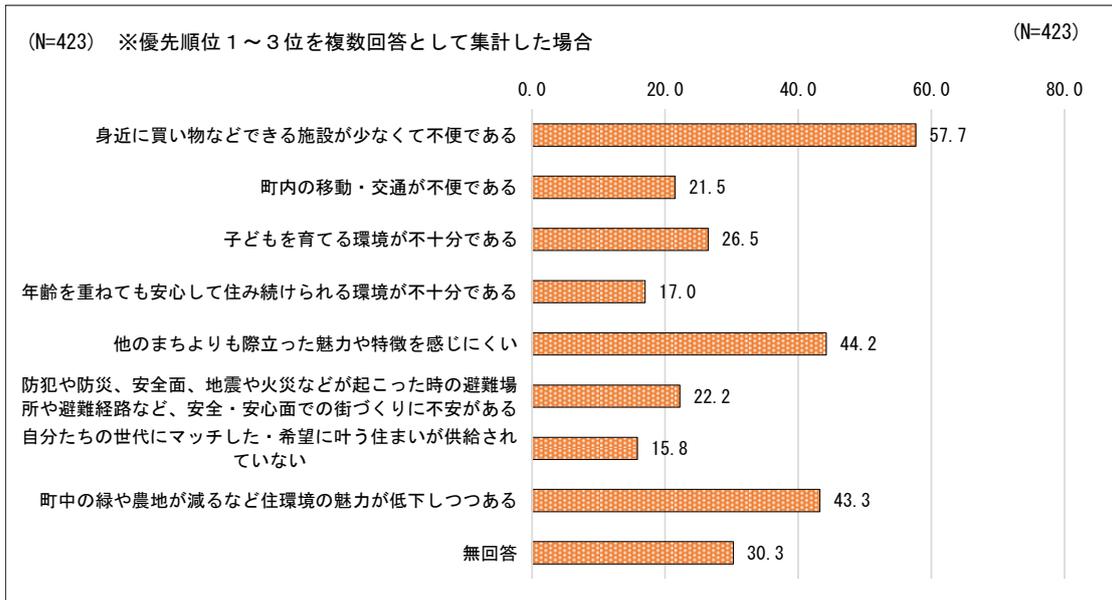
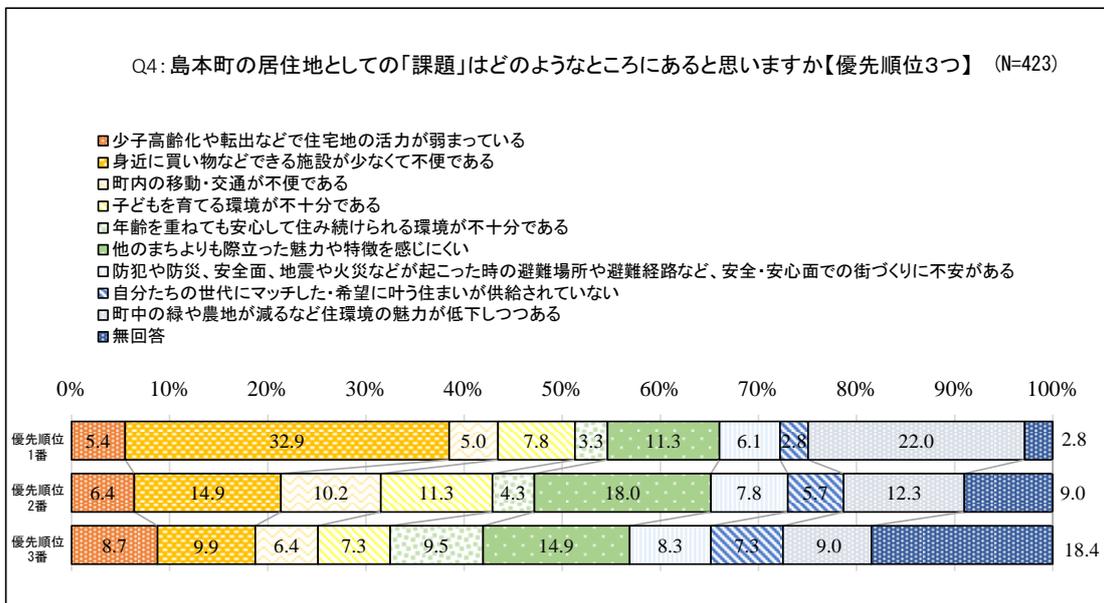
Q4 居住地としての課題

島本町の居住地としての「課題」はどのようなところにあると思いますか。優先順位をつけてお答え下さい。【上位3つ】

○優先順位1番は「身近に買い物などできる施設が少なくて不便である」(32.9%)が最も多く、次いで「町中の緑や農地が減るなど住環境の魅力が低下しつつある」(22.0%)が課題として挙げられています。

○優先順位2番は「他のまちよりも際立った魅力や特徴を感じにくい」(18.0%)が最も多く、次いで「身近に買い物などできる施設が少なくて不便である」(14.9%)が課題として挙げられています。

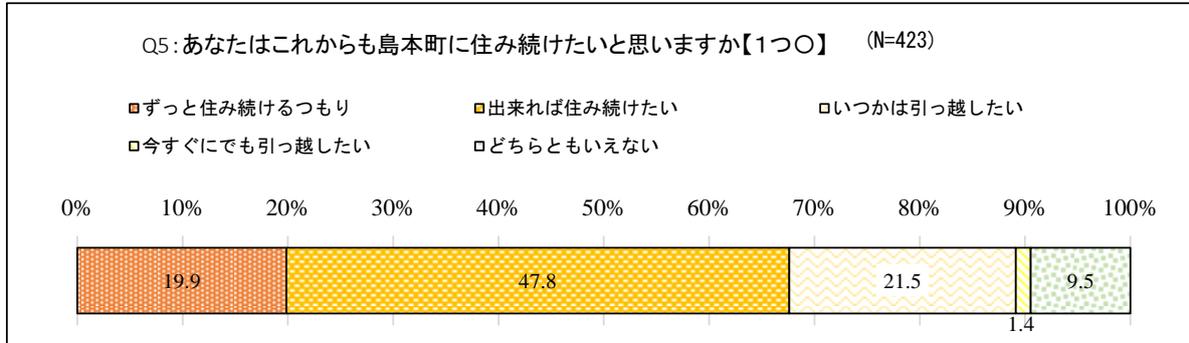
○優先順位3番は「他のまちよりも際立った魅力や特徴を感じにくい」(14.9%)が課題として挙げられています。



Q5 居住地の選択で重視すること 居住予定

島あなたはこれからも島本町に住み続けたいと思いますか。【1つに○】

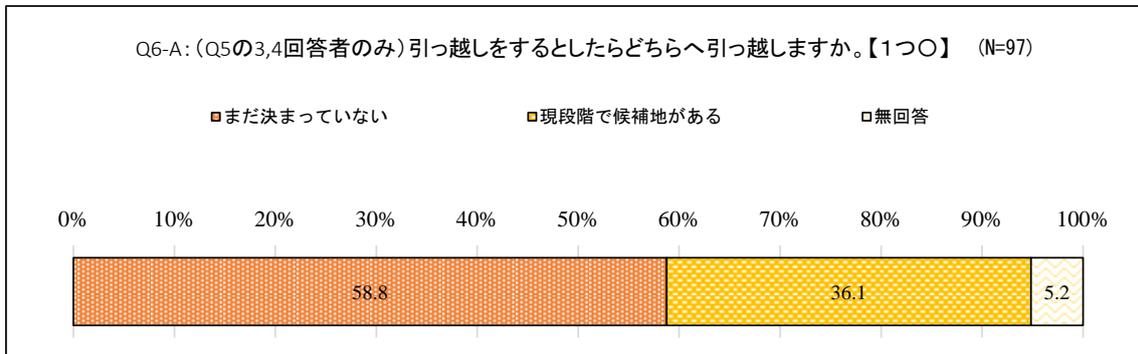
○「できれば住み続けたい」（47.8%）が最も多く、「ずっと住み続けるつもり」（19.9%）と合わせると、7割近くが住み続けたいと思っています。



Q6-A 居住地の選択で重視すること 引っ越し先について

(Q5の3,4回答者のみ) 引っ越しをしたらどちらへ引っ越しますか。【3つまで○】

○「まだ決まっていない」（58.8%）が最も多く、6割近くが未決定です。
 ○「現段階で候補地がある」（36.1%）の候補地として高槻市（12名）が最も多く、箕面市（2名）や茨木市（2名）などの北摂エリアの市も挙げられました。他には大阪市や京都市、神戸市、西宮市、明石市など（各2名）が挙げられました。

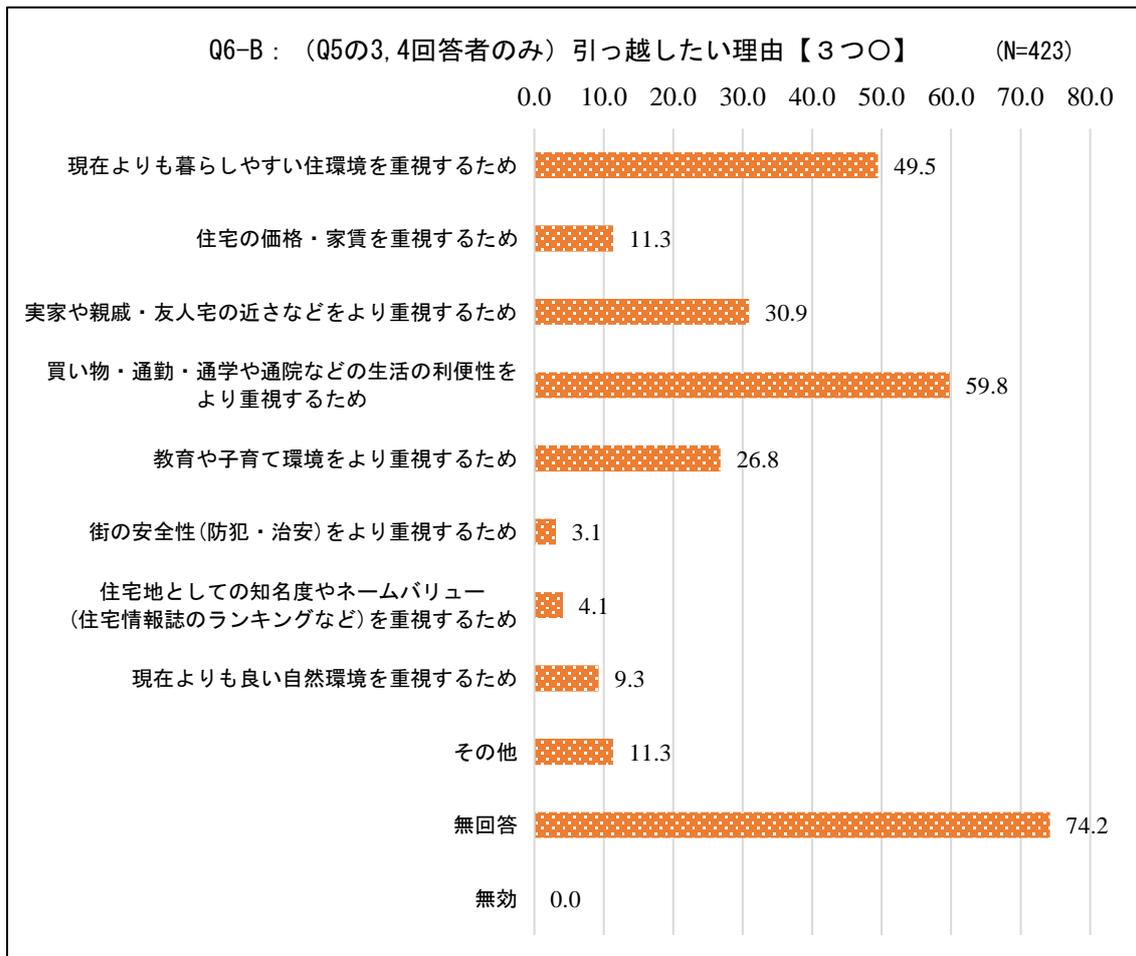


候補地	回答数
高槻市	13
箕面市	2
茨木市	2
大阪市	2
京都市	2
神戸市	2
西宮市	2
明石市	2
草津市	2
東京都	2
滋賀県	2
その他	7

Q6-B 居住地の選択重視すること 引っ越したい理由

(Q5の3,4回答者のみ) 引っ越したい理由【3つまで〇】

○「買い物・通勤・通学や通院などの生活の利便性をより重視するため」(59.8%)が最も多く、次いで「現在よりも暮らしやすい住環境を重視するため」(49.5%)が多くなっています。



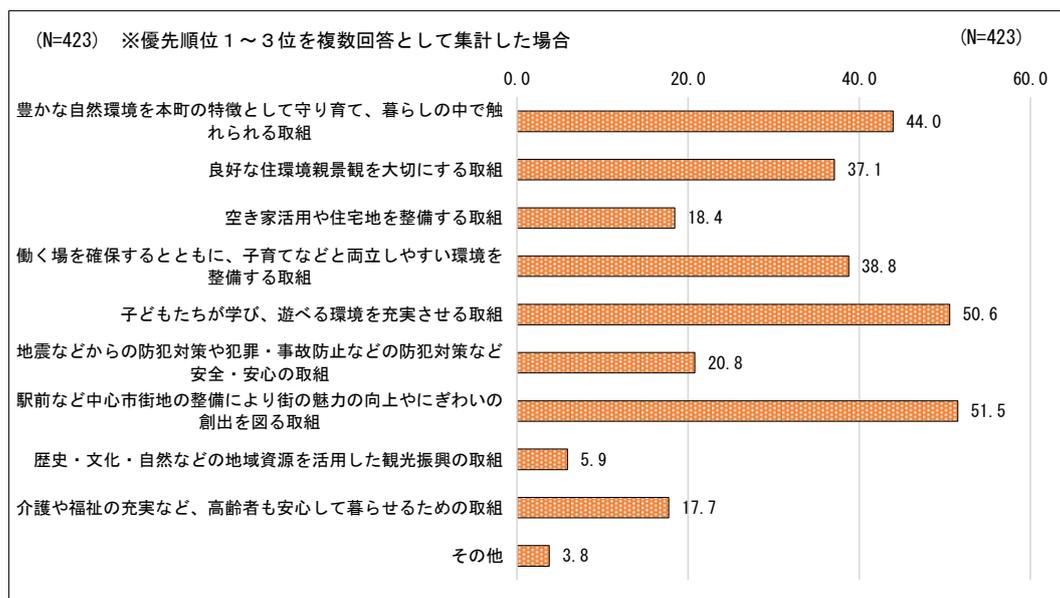
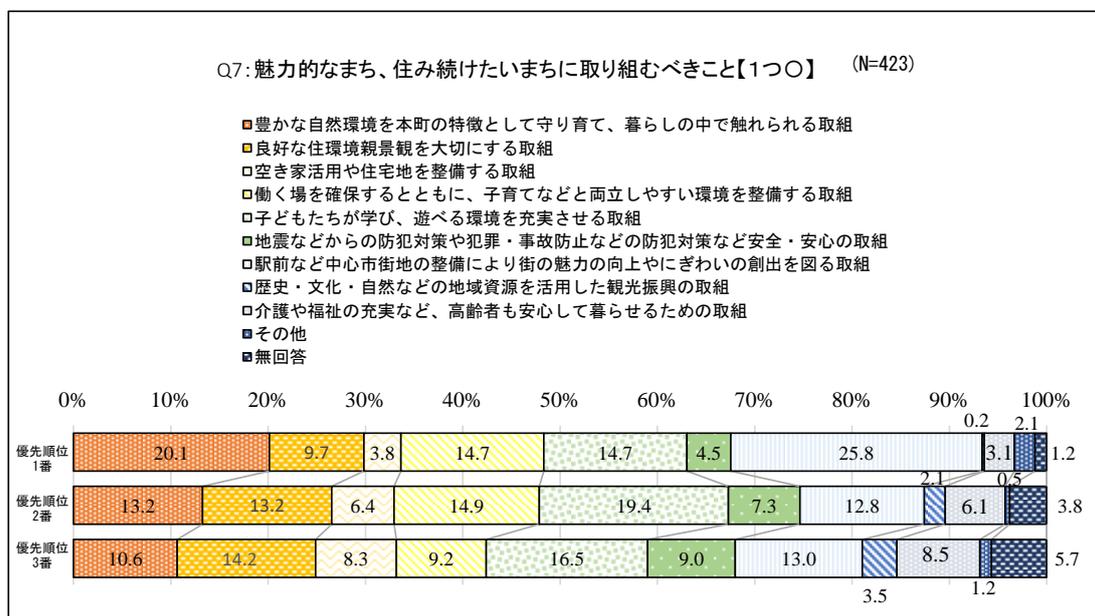
Q7 居住地の選択重視すること 住み続けたいまちになるための取組

あなたや同世代の方にとって島本町が魅力的なまち、住み続けたいまちになるために、どんなことに取り組んでいくべきだと思いますか。優先順位をつけてお答えください。

○優先順位1番は「駅前など中心市街地の整備により街の魅力の向上やにぎわいの創出を図る取組」(25.8%)が最も多く、次いで「豊かな自然環境を本町の特徴として守り育て、暮らしの中で触れられる取組」(20.1%)となっています。

○優先順位2番は「子どもたちが学び、遊べる環境を充実させる取組」(19.4%)が最も多く、次いで「働く場を確保するとともに、子育てなどと両立しやすい環境を整備する取組」(14.9%)となっています。

○優先順位3番は「子どもたちが学び、遊べる環境を充実させる取組」(16.5%)が最も多く、次いで「良好な住環境親景観を大切に取る取組」(14.2%)となっています。



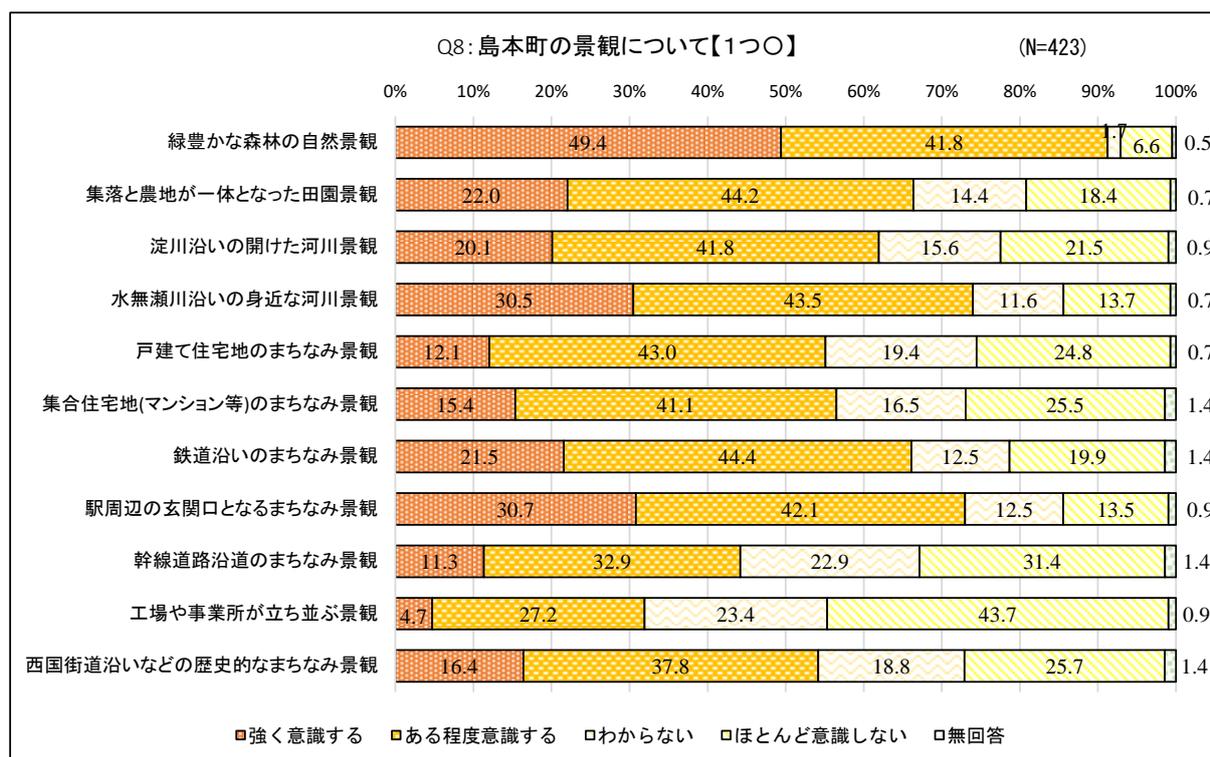
2-2. 島本町の景観について

Q8 普段の暮らして景観に触れる・意識する機会

島本町の景観について、普段から意識する機会がありますか。【あてはまるものに○】

○緑豊かな森林の自然景観は「強く意識する」(49.4%)が最も多く、「駅ある程度意識する」(41.8%)と合わせると9割の人が意識しています。

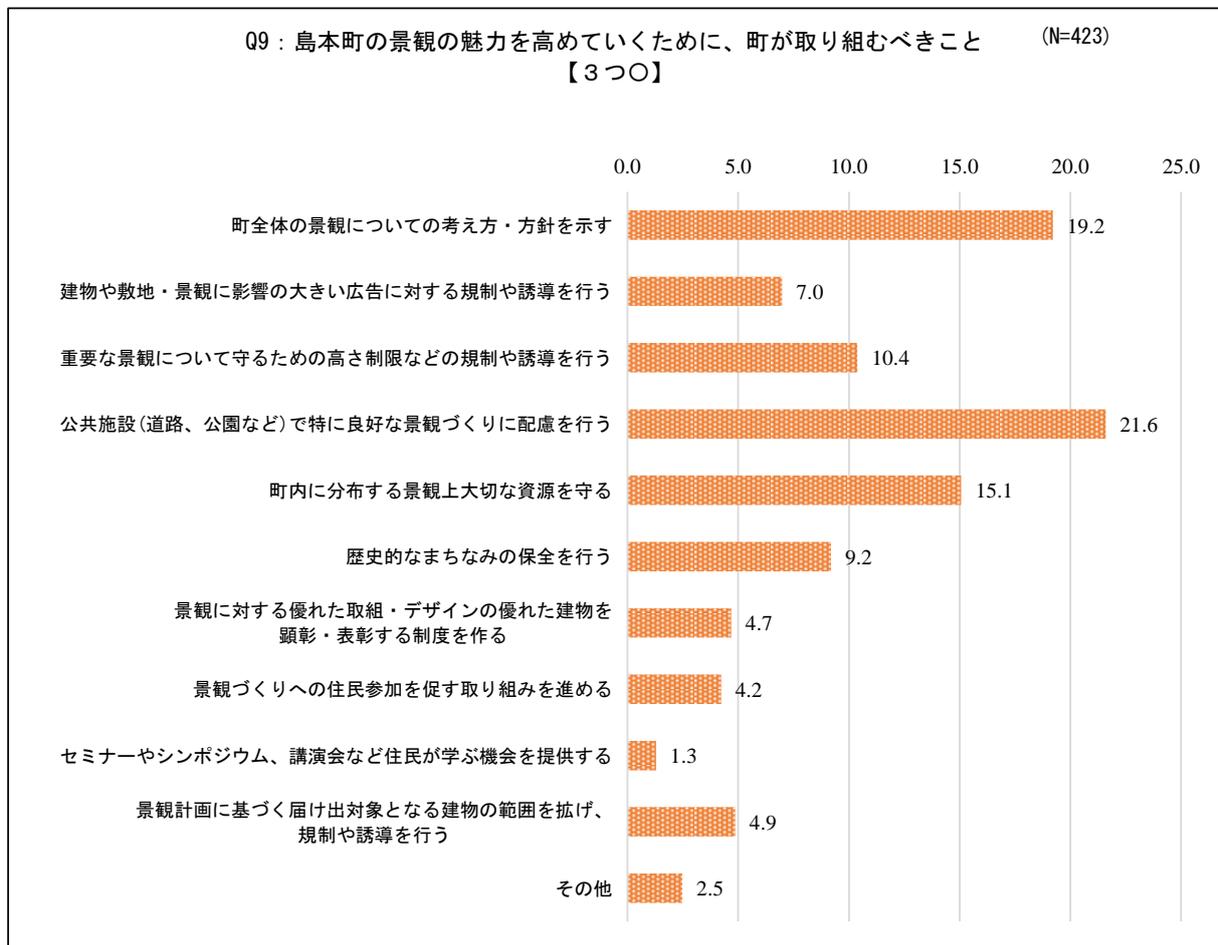
○工場や事務所が立ち並ぶ景観は、「ほとんど意識しない」(43.7%)が最も多く4割以上の人が意識していません。



Q9 景観で重視すること

島本町の景観の魅力を高めていくために、町が取り組むべきこと【3つ〇】

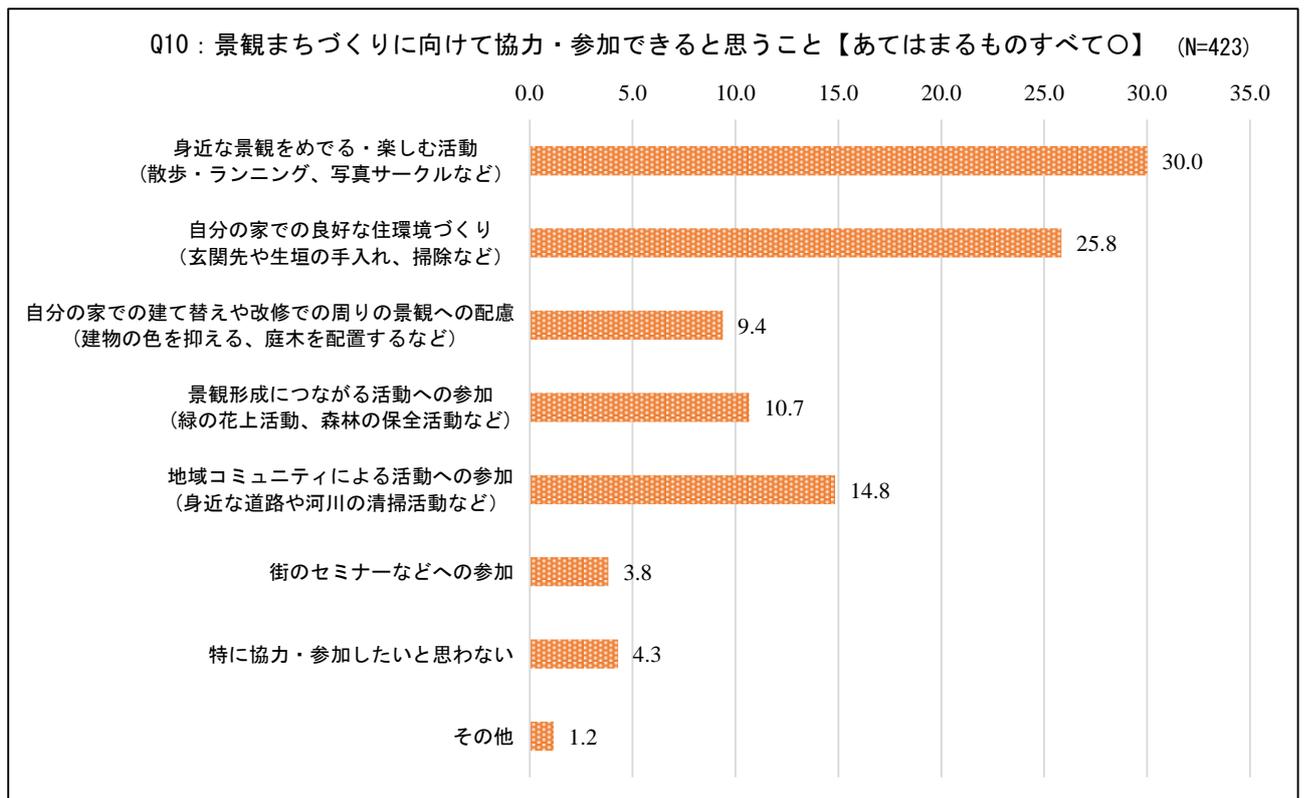
○「公共施設(道路、公園など)で特に良好な景観づくりに配慮を行う」(21.6%)が最も多く、次いで「町全体の景観についての考え方・方針を示す」(19.2%)となっています。



Q10 景観まちづくりへの参加意向

景観を大切にしたいまちづくりに向けて、あなた自身が協力・参加できると思うことについてお答えください。【あてはまるものすべてに○】

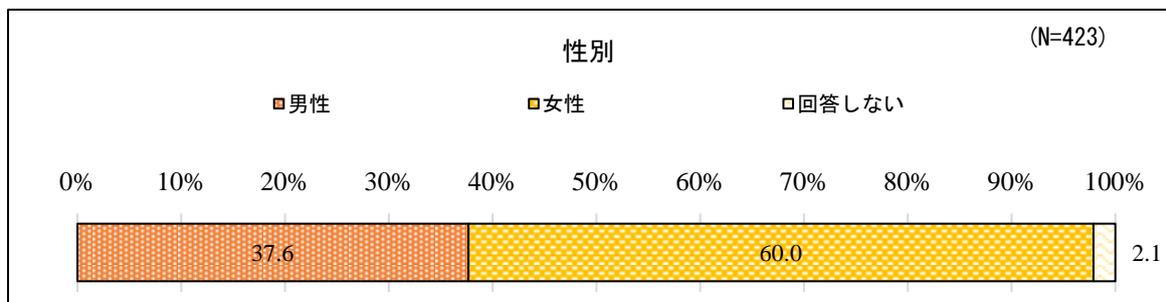
○「身近な景観をめぐる・楽しむ活動(散歩・ランニング、写真サークルなど)」(30.0%)
 が最も多く、次いで「自分の家での良好な住環境づくり(玄関先や生垣の手入れ、掃除など)」(25.8%)となっています。



2-3. 属性

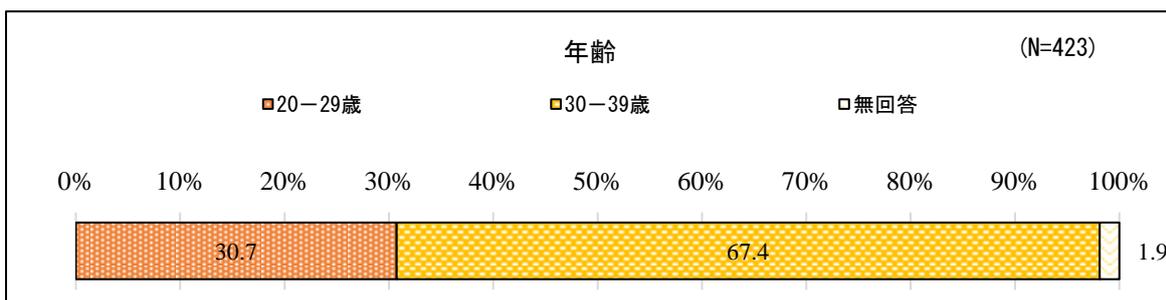
性別

○「女性」(60.0%)が、「男性」が37.6%となっています。



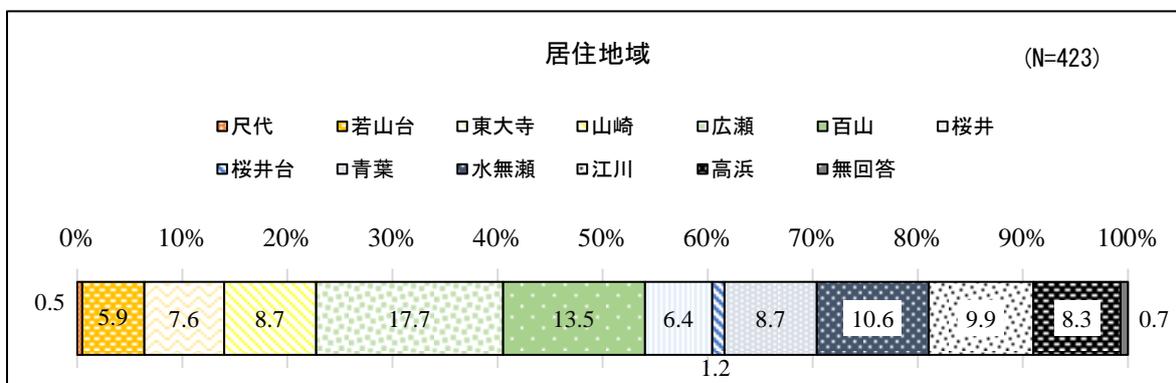
年齢

○「20-29歳」が30.7%、「30-39歳」が67.4%となっています。



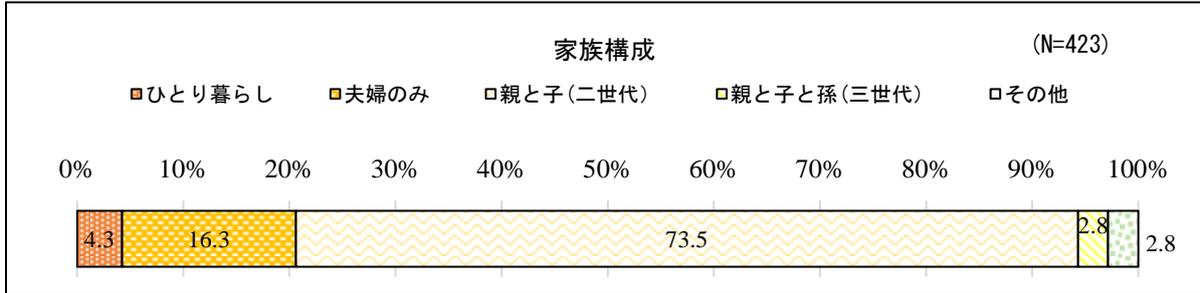
居住地域

○「広瀬」(17.7%)が最も多くなっています。



家族構成

○「親と子(二世代)」(73.5%)が最も多くなっています。



島本町での居住年数

○「5年未満」(40.9%)が最も多く、「5年以上、10年未満」(13.2%)を合わせると5割以上が居住年数が10年未満となっています。

